



大野市教育委員会たより

令和元年7月3日発行 第7号

発行 大野市教育委員会教育総務課
〒912-0086 大野市天神町 1-1
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。

そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実を図ることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

つきましては、先般、開催いたしました「教育環境に関する意見交換会」の結果概要について、お知らせします。

開催日：6月27日(木)午後7時～9時	次第 ・教育長挨拶
場所：有終東小学校体育館	・1部 説明「大野市の教育について」
対象者：有終東小学校保護者(出席者12人)	・2部 意見交換「大野市の教育環境について」

※以下は、「2部 意見交換」で保護者の皆さまと意見交換させていただいた『主な内容』です。

※保護者からの意見を◎、教育委員会の意見を■で表示しています。

◎学校再編で小学校4校、中学校2校の案から、小学校2校、中学校1校になった理由は。

⇒ ■平成27年4月に、小学校6校、中学校2校の再編計画(素案)が策定され、段階的に再編していく計画であった。段階的に再編していくことで、子どもにとって環境が変わる、制服が変わる、校歌が変わる、いろいろなものが変わることによって負担が掛かると考え、令和5年(平成35年)に中学校1校、令和8年(平成38年)に小学校2校にする計画とした。

◎スクールバスで通学している学校では、夏休みにバスで学校のプールの送迎をしているのか。

⇒ ■プールがある日は、毎日1便(行き、帰り)を運行している。

⇒ ◎再編した時も、そのようにスクールバスで送迎するのか。

⇒ ■再編計画の見直しにより、学校数や学校の場所が決まり次第、スクールバスの運行経路を検討していく予定である。プールの送迎では、学校が近い子、遠い子で不公平のないようにしていく必要がある。

◎この意見交換会は、何のために意見を聞くのか。出た意見が学校再編につながるのか。

⇒ ■再編計画の見直し案を作る前に、保護者の方がどういうことを求めているかをもう一度お聞きしたいという考えで意見交換会を開催している。

⇒ ◎このような会は、また開催されるのか。今日の参加人数の意見で十分と考えているか。

⇒ ■見直し案を作成した時に、保護者や地域の方々に示したいと考えている。本当に一生懸命考えていただけた方が集まってくれたと思っている。集まってくれたために、案内などで努力している。

◎学校再編はいずれ必要な時がくると思う。これからの子どもたちが高齢者を支えていかなければならない。今、市内に車の整備士のなり手がいない。今の若い人は勉強は出来ると思うが、社会に通用しない。ちょっと怒ると会社を辞めてしまったり、すぐに休んだりする。子どもが大人になった時の社会に不安がある。勉強が出来る教育が本当に社会に出て役に立つのか疑問である。夏休みを減らして、通常の授業を1時間減らして、子どもが外で遊ぶ環境があったらいいと思っている。今の子どもは忙しすぎて、遊ぶ時間や交友関係を作る時間がない。いい先生に会えた、いい学校を卒業できたという環境にしてほしい。

⇒ ◎宿題が多すぎる。小学校1年生が夜遅くまで宿題をしている。友だちと遊ぶ時間がない。

⇒ ■家庭学習(宿題)の習慣化は必要。基本は「学年×10分」を理想として共通理解している。宿題の出し方などを学校と確認したい。

⇒ ◎クラスによって、宿題の量が違うのではないか。

⇒ ◎2年生に進級し、担任が変わったら宿題が少なくなった。先生によって宿題が違う現状を把握してほしい。

⇒ ■有終東校は1学年2クラスある。クラスで宿題に差がないようにしていかないといけない。市全体で再確認したい。

◎幼稚園では自由な感じだったが、小学校ではきまりや行事、宿題が多く、管理されている感じで時間に余裕がない。子どもは登下校でも疲れていて、遊ぶ時間がない。宿題の質も悪いと思う。勉強は主体的に学ぶものと思う。

⇒ ■これからは自らが考えていく教育をしていく必要がある。それが社会に出ていくための必要な力になると思う。

◎保護者全員にアンケートをして、その結果を基に意見を聞く方が良い。有終東校の校舎は耐震があるとはいえ40年以上建っている。地震が多発しているので不安である。学校再編で学校数が減った場合、学校は避難場所

となっているのでどうなるのか。

⇒ ■学校のほとんどが避難所として指定されている。耐震されているので現在は大丈夫と考えているが、耐用年数が過ぎる学校は、コンクリート強度などを調べ、安全を確認しながら使っていかなければならないと考える。

◎学校再編をするのは、なぜか。子どもの人数が減ってきた理由からだけなのか。

⇒ ■学級によっては、少人数になっているところもある。子どもが子どもから学ぶためには、ある程度の人数による規模が必要であると基本的に考えている。地域性や地区の状況、経緯も考慮する必要がある。

⇒ ◎学校に係る経費は関係ないのか。

⇒ ■市全体の予算は毎年 180 億円前後で、その財源は市税などの自主財源が 35%、残りは国や県の地方交付税や補助金などで補っている。国・県の予算が減れば、市の予算も減っていくことが予想される。全体の予算が小さくなる中で教育費 10%の割合は維持していきたい。今、介護保険や国民健康保険などの福祉に係る経費（民生費）が増えており、教育費などの他の経費を圧迫する恐れはある。

⇒ ◎学校の数をこのままにしておく、予算が足りなくなるということはないのか。

⇒ ■学校数がこのままでも、予算を保つことは可能と考える。ただし、市全体の予算が減れば教育費も減るので、各学校の予算の配分は薄くなっていく。学校が再編されると、学校数が減るので予算を集中的に配分することが可能となる。

⇒ ◎学校を再編することで、各学校に予算が厚く配分できる場合、学校を何校ぐらいに絞らないと、子どもたちに対して良い環境を与えられないのがあると思う。教育委員会で再編の校数（案）に応じて、予算の配分や教育環境の状況を示してもらえると意見を出しやすい。

⇒ ■再編計画の見直し（案）をある時点で示して、意見を聞いていきたい。今は、その前の段階として、いろいろな意見をお聞きしている。



◎自分たちの子どもが結婚して子どもを持ち、大野で教育をさせたいと思わせるような学校再編をしてほしい。1つの学校に600人は多いと思うが、現在の小規模校ぐらいの人数では、しっかり勉強を教えてもらえるのかもしれないが、友だち関係や人間関係を形成していくにはどうかと思う。1クラス20人から25人がちょうどいいと思う。複式学級にならないような再編をしてほしい。今日、参加者が少ないのは再編が先延ばしになり、先が見えないからであると思う。早く再編してほしい。

◎少人数の学級では先生次第で教育が良くなったり、悪くなったりするので、先生の指導の向上をしてほしい。

⇒ ■働き方改革は、先生の仕事を楽にするためではなく、子どもと向き合う時間を増やすためや本来の教育に従事する時間を増やすために行っている。質の高い教育を持続させていきたいと思っている。そのためには、家庭教育と学校教育が同じ方向を向いていかないといけなく、保護者の協力もお願いしたい。

◎時代の流れとともに再編は仕方がないと思っている。放課後、子ども同士で遊ぶとき、友だちが遠くにいてそこまで自転車で行くことがあり、事故に遭う確立が増える。両親が市外で仕事をしている場合、学校に子どもを迎えにいけない。そのようなことも吟味して再編を検討してほしい。地域との連携も考えてほしい。

⇒ ■検討課題はたくさんあるが、しっかり考えていきたい。

◎意見交換会を行っている中で、学校再編に対して、賛成・反対どちらの声が多いか。

⇒ ■現在の再編計画をそのまま進めるのは難しいと感じる。学校再編において、ある人にとってのメリットは、ある人にとってのデメリットになると感じる。地域によって関心の高さの違いも感じる。

◎現在の市全体の中学生の人数は、自分の中学校時代の1校分である。当時通っていた中学校は600から700人で、1学年に1クラス約40人で6クラスあった。今、スポーツなどで、やりたい子がやれない、選べない状況で、小学校でスポ少などの団体競技をしていても、中学校で個人競技に変わる子どもがいる。家庭環境・時代が変わり、子どもの教育について、学校に責任転嫁する保護者もいる。

⇒ ■子どもの本質は、昔も今も変わっていないと感じている。社会や大人が変わって、子どもがそれに応じて変わらざるえなくなっている。子どもらしさを保ってあげることが学校の役割であると考えている。子どもが今日一日、楽しかったと思える学校でなければいけないと思う。

◎中学校の部活は、なぜ運動部ばかりなのか。運動できない子はどうすればいいのか。

⇒ ■学校の規模が小さくなると教員も減るため、これまで通りの部活を維持することが困難になっている。現在、学校外のスポ少やスイミングなどで週何回か練習をしている場合、学校の部活に無理に入らなくても良い学校もある。学校だけで個別の対応が難しくなっていて、地域社会に頼らなければならない部分が出てきている。

お仕事等でお忙しい中、ご出席いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。本日より、大野市ホームページにも掲載を予定しています。